

一姿勢ファイナル概要

国際射撃連盟(ISSF)日本ライフル射撃協会(NRAJ) ライフル射撃のファイナルを知る

ファイナルとは

皆さんをご存知のように、ライフル射撃ではエアライフル種目の場合、男子は 60 発、女子は 40 発の合計得点で順位がつけられます。このような試合形式を、ここでは本選形式と呼ぶことにしましょう。小規模な試合の場合、順位は本選形式のみで決定されます。しかし、規模が大きい試合では、本選形式だけでなく、その本選上位 8 名がファイナル形式という違うステージで真の順位を決定します。ですから、例えば本選で 1 位になったとしても、ファイナルで 8 位にまで落ちてしまう可能性も十分にあり、その逆もありえます。ファイナルはその名の通り決勝戦で、本選とは全く違う雰囲気の中で射撃を行うこととなります。

順位の決定方法

ファイナルは、大きく分けて第 1 ステージと第 2 ステージの 2 つのステージに分かれています。

第 1 ステージ

1 シリーズ 3 発のシリーズを 2 回行います。まず、射場長の号令によって、8 人の選手が 1 5 0 秒以内に 3 発撃ちます。そしてもう一度、射場長の号令によって、8 人の選手が 1 5 0 秒以内に 3 発撃ちます。この時点で全員が計 6 発ずつ撃っていることとなります。

第 2 ステージ

このステージでは、選手は射場長の号令のもと、1 発ずつ撃っていきます。1 発の制限時間は 5 0 秒です (50mProne は 30 秒)。そして、ここが一番のポイントなのですが、2 発撃つごとに、合計点が一番低い最下位の選手が脱落し、順位が確定されてしまいます。脱落した選手は、もう撃つことはできません。例えば、ファイナル 8 発目の時点で最下位の選手は脱落し、8 位が確定します。ファイナル 1 0 発目の時点で最下位の選手は脱落し、7 位が決定します。どんどん進んでいき、ファイナル 1 8 発目の時点で最下位の選手は脱落し、3 位が確定します。そしてファイナル 2 0 発目の時点で、1・2 位が確定するのです。

競射

ここで、1 つの疑問が出ます。もし、脱落選手を決めなければいけない時に、最下位で合計点数が同じ選手が 2 名以上いて、順位が確定できない時はどうすればよいのか。そのような時は、競射 (きょうしゃ、シュートオフ) を行います。これは、先述のような順位決定ができない時に行う特別なステージで、同点の選手同士が 1 発ずつ撃ち、その点数が低いほうが脱落し、高かったほうが脱落を免れるという仕組みになっています。

ファイナルの流れ

実際のファイナルは、以下のような流れで運営されます。



基本的には、選手にコールを行う射場長、ルール違反取締や射場役員が適切に運営しているかを見守る Jury、選手や観客に向けて現在の状況を実況するアナウンサー、電子標的などを管理する技術員などの人員が必要です。

ファイナルの詳しい運営方法

ファイナルを実際に行う時の、運営例は別紙の「ファイナル運営進行表」をご覧ください。

備考

この資料は、2015年時点での競技規則をもとに作成しています。また、京都産業大学体育会射撃部で独自で作成したものであり、公式なものではありません。

2015年8月25日 田上